

# 学習計画表

8	7	6	5	4	3	2	1	時
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">サーカスのライオンを読む</div>								単元のめあてを決める。学習計画を立てる。
サークスのライオンの本の帯を作る。	五の場面を読む	四の場面を読む	三の場面を読む	二の場面を読む	登場人物の人物ぞうをとらえる。	場面を分けて、小見出しを書く。	学習すること	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">             場面ごとに、大事な一文を選び選んだ理由を書く。           </div>								

※このような表の枠を応用紙に書き、授業で児童と一緒に計画を立て、授業の際に一緒に考え、応用紙に書き込んでいくとよいでしょう。

## じんざの顔（黒板掲示用）

黒板で場面ごとのじんざの気持ちの変化を心情曲線に表すときに使います。目はじんざの気持ちを児童と一緒に相談しながら描くことができますようにしています。



# 大事な一文と選んだ理由 教師のモデル

黒板提示用（広用紙に書きます）

## ニヤーゴ

宮西達也

☆えらんだ一文

ねこは、大きなためいきを一つつきました。

☆えらんだ理由

この文をえらんだ理由は、ねこがねずみたちを食べることをあきらめてしまったことがわかるからです。

ねこは三びきのねずみたちを食べたくてたまらなかったと思います。でも3びきのねずみたちはかんちがいをしてねこのことをこわがりません。ねこは、だんだんねずみたちとなかよくなってしまい、もう食べるのをあきらめてしまったと思います。ねこはちょっとざんねんだったかもしれません。

人物の気持ち

選んだ理由

実際の本の帯

## 表紙

ねこは、  
大きなためいきを一つつきました。



## 裏表紙

この文をえらんだ理由は、ねこがねずみたちを食べることをあきらめてしまったことがわかるからです。ねこは三びきのねずみたちを食べたくてたまらなかったと思います。でも3びきのねずみたちはかんちがいをしてねこのことをこわがりません。ねこは、だんだんねずみたちとなかよくなって、もう食べるのをあきらめてしまったと思います。ねこは、ちょっとざんねんだったかもしれません。

「サーカスのライオン」 川村 たかし  
 サークスといえはば…

動物の曲げい 玉のり ピエロ 空中ブランコ  
 ライオンといえはば…

肉食 百じゅうの王 けもの きげん  
 めあて

**大事だと思ふ一文を選び、これから学習することを知らう。**

大事だと思ふ一文⇨人物の気持ちが大きく変わったことが分かる一文

物語の中で、大事だと思ふ一文とそれを選んだ理由

- 「なあに、わしは火にはなれていきますのじゃ。」
- ・ 子どもを助けるために言った。
- 火の粉をふきあげていたライオンのすがたはどこにもなかった。
- ・ 男の子は助かったけどライオンのすがたはなかったから感動した。

**人物の気持ちを考えながら読もう**

サーカスの  
ライオン

人物の気持ちが大きく変わったことが分かる一文を選び、その理由を書く。

本の帯

教師のモデル

児童に親しみのある物語（教材）を読み、応用紙に大事な一文とその理由を書いて提示します。帯も実際に作り、本にかけて紹介するとよいでしょう。

学習計画表

児童と話し合いながら、応用紙に書き込んでいきます。応用紙は移動黒板などを利用して貼っておくといでしょう。

【1 / 8 時間目 指導略案】 使用するワークシート①  
 活動のねらい

大事だと思ふ一文を選ばせ、これからの学習の見通しをもたせるようにする。

1 「サーカス」「ライオン」について知っていることを出し合う。

○ サークスやライオンのイメージをとらえさせる。

2 本時のめあてを知る。

3 教師の読み聞かせを聞き、物語の中で大事だと思ふ一文とそれを選んだ理由を書き発表する。

○ 教師の読み聞かせを聞いたあと、物語の中で大事だと思ふ一文とそれを選んだ理由を書くことを伝える。選んだ一文に、サイドラインを引かせる。

○ 書いたことを発表させ板書する。

4 単元のめあてを知る。

○ 児童に親しみのある物語を例に挙げて、教師が書いた大事な一文とその理由を示す。（教師のモデルは、主人公の気持ちの変化を述べ、それについての自分の考えを記したものにしておく。）

○ 教師が作った本の帯を絵本につけて見せ、完成をイメージさせる。

○ 「サーカスのライオン」を読み取った後、一番大事だと思ふ一文とその理由を基に本の帯を作ることを提案する。

※ 本プランでは、表現方法を「本の帯」にしています。学級の実態に合わせて、「読書会」「紹介ポスター」などを選択してもよいと思います。

5 大まかな学習計画を立てる。

○ 児童と話し合いながら、完成までの大まかな計画を表に書く。

【評価】 学習の見通しをもち、本の帯を作ることに興味をもつことができる。（ア）

6 本時を振り返り、次時の学習内容について知る。

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし  
めあて

場面を分け、場面ごとに小見出しを書こう。

場面のはじめの時を表す言葉

- 一 …町外れの広場に
- 二 …夜になった。
- 三 …次の日、
- 四 …その夜ふけ……。
- 五 …次の日は、

↑  
場面分けは、児童の実態や教師の教材分析に応じて、他の分け方もできるでしょう。

五	四	三	二	一	場面
			じんざが男の子に会って、少し元気がなった場面	サーカス小屋で年取ったじんざがさびしそうにしている場面	小見出し
( )					
( )の心じよう曲線					

本時では、下段の心情曲線の部分は空白のまま  
でよい。

【2 / 8時間目 指導略案】 使用するワークシート②  
活動のねらい

場面を分け、場面ごとに出来事を整理して小見出しを書き、物語の大まかな内容を  
とらえることができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- 場面の様子が分かるように短い文（小見出し）で表すことを知らせる。

2 場面分けをして、物語の大体の内容をとらえる。

- これまで学習してきた場面の分け方を参考にして、時を表す言葉を  で囲ませ、  
五つの場面に分けさせる。

3 場面ごとに小見出しを書く。

【発問】 分けた場面の内容が分かるような小見出しをつけましょう。

- 場面の小見出しは、じんざを中心に考えさせる。
- ※ 「一の場面はどんなこと書いてあったかな？」などと尋ねながら、教師と一緒に考  
えさせ、書き方をとらえさせてもよいでしょう。
- 時間があれば、隣の友達と比べて、よりよい形に直させてもよい。

【評価】 場面ごとに小見出しを書き、大まかな内容をつかむことができる。（イ1）

4 本時を振り返り、次時について知る。

- ワークシートで自己評価をさせる。
- 次時は、一の場面を読み、登場人物のことについて学習することを知らせる。

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

登場人物の人物ぞうをとらえよう。

**登場人物**

じんざ (ライオン)      サーカスのおじさん      男の子



	根きよとなる言葉や文	想像できること
男の子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うん大好き</li> <li>・お父さんは、夜のつとめがあつて</li> <li>・お母さんは入院</li> <li>・お姉さんも夕方から出かけていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライオンがすき</li> <li>・ひとりぼっち</li> <li>・さびしい</li> <li>・家にだれもない</li> </ul>
じんざ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年とつていた</li> <li>・いつもアフリカのゆめを見た</li> <li>・のそりと立ち上がる</li> <li>・じんざは、三回四回くり返した</li> <li>・おまえの目も白くにごつてしまつたぞ</li> <li>・わしはおいぼれだよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気がない</li> <li>・アフリカに帰りたい</li> <li>・もう動けない</li> <li>・火のわくぐりはもうあきている</li> <li>・目が見えないかも</li> <li>・おじいさんみたい</li> </ul>

じんざ…年を取って元気がなく、サーカスのやる気もあまりないライオン  
 男の子…サーカスのライオンが大好きな男の子

【3 / 8時間目 指導略案】      使用するワークシート③  
 活動のねらい

叙述から、じんざと男の子の人物像について読み取ることができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- 単元のめあて「人物の気持ちを考えながら読もう」を達成するためには、初めに登場人物の置かれている状況をとらえておくことが大切であることを伝える。

2 じんざや男の子の性格や置かれている状況について読み取る。

【発問】じんざ、男の子はどんな人(ライオン)でしょう。また、そのわけも説明しましょう。

- 登場人物のことが分かる言葉や文に線を引かせ、そこから想像できるじんざや少年の性格やおかれている状況をワークシートに書かせる。

3 じんざや男の子の人物像について話し合う。

- 根拠となる言葉や文を基に、想像したことを話すようにさせる。

4 じんざ、男の子の人物像をそれぞれ一文で表す。

- じんざは年老いて生きる気力をなくしていること、男の子は孤独で寂しい思いをしているが、サーカスのライオンが好きであることなどにふれる。

【評価】 叙述から登場人物の人物像を読み取っている。(イ1)

5 本時の学習を振り返り、次時は二の場面を学習することを知らせる。

- 本時のめあてに対する自己評価をさせる。
- 次時から、じんざの気持ちがどう変わっていくかについて読んでいくことを知らせる。

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

二の場面のじんざの気持ちの変化を考えよう。

場面	小見出し	（く）の心じょう曲線
一	年取った じんざ	楽しい・元気がある やる気がある・うれい やる気がない・悲しい
二	男の子と 出会った じんざ	（く）の心じょう曲線 さびしい・元気がな い
三		
四		
五		

年取っている  
一日中ねむっている  
アフリカに帰りたい

「来てやっておくれ。きつとよろこぶだろうよ」。

大事な一文：本単元では、じんざの気持ちが大きく変わったことが分かる一文としてい

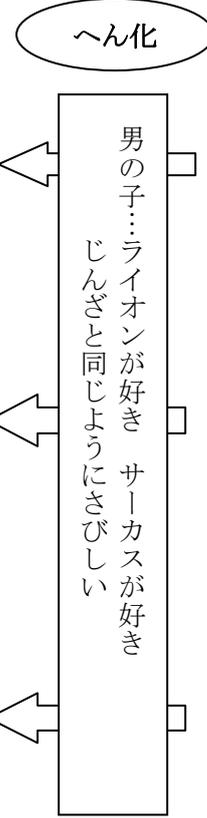
心情曲線は、広用紙を選び、授業前に児童が短冊に書いておき、授業の中から児童の発言を振り返ります。

理由

さびしかった  
元気がなかった  
たいくつそう

男の子…ライオンが好き  
サーカスが好き  
じんざと同じようにさびしい

さびしくなくなった  
元気が出てきた  
楽しくなった



【4 / 8 時間目 指導略案】 使用するワークシート②④

活動のねらい  
少年との出会いにより、少しずつ変化していくじんざの気持ちを叙述に基づいて読み取ることができるようになる。

- 1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。
  - 一の場面からじんざのおかれている状況を確認し、じんざの気持ちを心情曲線に表す。（じんざの顔を貼る）。
- 2 学習場面を音読する。
  - じんざの顔を心情曲線に貼ることと、そこに貼る根拠となったじんざの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に二の場面を音読させる。
- 3 じんざの気持ちについて、自分の考えをもつ。
  - 【発問】二の場面のじんざの気持ちはどう変わったでしょう。
  - ① 心情曲線にじんざの顔を置く。
  - ② じんざの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。
  - ③ 付せんにワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。
- 4 じんざの気持ちについて話し合う。① ペアで ② 全体で
  - じんざの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。
  - 理由の中にじんざの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。
  - 児童の発言を基に、じんざが男の子と出会ったことにより、元気になっていったことを確認する。
- 5 二の場面のじんざの気持ちの変化を考えながら、じんざの顔の位置を決めて貼りつける。
  - 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。
- 6 本時の学習をまとめ、次時は三の場面を学習することを知らせる。
  - 【評価】 叙述を基に、じんざの気持ちの変化をとらえることができている。（イ）
  - ワークシートで自己評価をする。

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

三の場面のじんぎの気持ちのへん化を考えよう。

場面	小見出し	へん化の心じよう曲線			
一	年取った じんぎ	楽しい・元気がある やる気がある。うれし い			
二	男の子と 出逢った なみだ				
三					
四					
五					

じんぎは、もうねむらないでまっていた。

じんぎは乗り出して、うなずいて聞いていた。

じんぎの体に力がこもった。

目がぴかっと光った。

「・・・ようし、あした、わしはわかいときのように、火の輪五つにしてくぐりぬけてやろう。」

理由

一日じゆうねむっていた 目が白くにごっている やる気がない

へん化  
男の子…チョコレートを半分こ じんぎに会いに毎日きてくれる  
あした火の輪をくぐるのを見に来てくれる

ねむらないで 男の子のために がんばろう

男の子を待っている ようになった わかいライオンの

【5 / 8 時間目 指導略案】

使用するワークシート②⑤

活動のねらい

少年との交流を通して、火の輪くぐりへの意欲を奮い立たせていくじんぎの気持ちの変化を叙述に基づいて読み取ることができるようにする。

1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 前時で学習した、じんぎの元気になっていく様子を振り返り、本時のめあてを確認する。

2 学習場面を音読する。

○ じんぎの顔を心情曲線に貼ることと、そこに貼る根拠となったじんぎの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に三の場面を音読させる。

3 じんぎの気持ちについて、自分の考えをもつ。

【発問】三の場面のじんぎの気持ちはどう変わったでしょう。

① 心情曲線にじんぎの顔を置く。

② じんぎの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。

③ 付せんをワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。

4 じんぎの気持ちについて、話し合う。① ペアで ② 全体で

○ じんぎの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。

○ 理由の中にじんぎの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。

○ 児童の発言を基に、じんぎが少年の優しさに触れ、火の輪くぐりへの意欲を奮い立たせていったことを確認する。

5 三の場面のじんぎの気持ちの変化を考えながら、じんぎの顔の位置を決めて貼りつける。

○ 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。

【評価】叙述を基に、じんぎの気持ちの変化をとらえることができる。（イ1）

6 本時の学習をまとめ、次時は四の場面を学習することを知らせる。

○ ワークシートで自己評価をする。

# 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

四の場面のじんぎの気持ちのへん化を考えよう。

場面	小見出し	（ ）の心じよう曲線
一	年取った じんぎ 男の子と 出逢った じんぎ	楽しい・元気がある やる気がある。うれしい い やる気がない 楽しい
二	男の子と 出逢った じんぎ	↑ さびしい 元気がな い
三		
四		
五		

↑  
 応用紙の下には、既習場面の大事な一文の短冊が貼られています。ここでは、スペースの都合で省略しています。

ライオンの体がぐうんと大きくなった。

足の痛いのもわすれて、昔、アフリカの草原を走った時のように、じんぎはひとかたまりの風になってすっとんでいく。

それを聞いたライオンのじんぎは、ぱつと火の中にとびこんだなかに。わしは火にはなれていきますのじや。

ウォーツ  
ライオンのすがたはどこにもなかった。

ひかびかにかがやくじんぎだった  
もう、さつきまでのすすけた色ではなかった。

金色に光るライオンは、空を走り、たちまちやみの中に消え去った。

## 理由

- 男の子をぜつ対に助けたい。
- 明日のサーカスに来てほしい。
- 火の輪くぐりを見てほしい。
- 大好きな男の子を助けるためなら死んでもいい。
- 火の輪をくぐっている気持ちで火の中にとびこんだ。
- アフリカにいるほんとうのライオンにもどった。

勇かななライオンになった。

【6 / 8 時間目 指導略案】 使用するワークシート②⑥  
 活動のねらい

少年のために命を省みずに炎に飛び込んでいくじんぎの気持ちの変化を叙述に基づいて読み取ることができるようにする。

- 1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。  
 ○ じんぎがサーカスにやる気を出していった三の場面の様子を振り返り、本時のめあてを確認する。
- 2 学習場面を音読する。  
 ○ じんぎの顔を心情曲線に貼ることと、そこに貼る根拠となったじんぎの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に四の場面を音読させる。
- 3 じんぎの気持ちについて、自分の考えをもつ。  
 【発問】四の場面のじんぎの気持ちはどう変わったでしょう。  
 ① 心情曲線にじんぎの顔を置く。  
 ② じんぎの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。  
 ③ 付せんをワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。
- 4 じんぎの気持ちについて、話し合う。① ペアで ② 全体で  
 ○ じんぎの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。  
 ○ 理由の中にじんぎの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。
- 児童の発言を基に、少年のために命も省みずに炎に飛び込んでいく勇敢なじんぎへと変化していったことを確認する。
- 5 四の場面のじんぎの気持ちの変化を考えながら、じんぎの顔の位置を決めて貼り付ける。  
 ○ 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。

【評価】叙述を基に、じんぎの気持ちの変化をとらえることができる。（イ1）

- 6 本時の学習をまとめ、次時は五の場面を学習することを知らせる。  
 ○ ワークシートで自己評価をする。

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

五の場面のじんぎの気持ちを考えよう。

場面	小見出し	( )の心じよう曲線	
一	年取った じんぎ	楽しい・元気がある やる気がある。うれし	さびしい元気がな い やる気がないまし
二	男の子と 出逢った じんぎ		
三			
四			
五			

↑  
広用紙の下には、既習場面の大事な一文の短冊が貼られています。ここでは、スペースの都合で省略しています。

この場面では、じんぎは登場しませんが、叙述からじんぎの存在を感じることができます。心情曲線上での位置づけは児童によって異なると思いますが、根拠となる一文やその理由が叙述に即していれば認めます。

けれども、ライオンの曲芸はさびしかった。  
おじさんはひとり、チタツとむちをならした。  
五つの輪はめらめらともえていた。  
だが、くぐりぬけるライオンのすがたはなかった。  
お客はいつしようけんめい手をたたいた。

理由

- もし、じんぎが生きていたら、この日のサーカスで火の輪くぐりをがんばっていたと思うから。
- おじさんもお客さんもおじんぎのすがたを思い出しているから。
- じんぎが「火の輪を五つにくぐりぬけてやるう。」と言った通りに、火の輪を一の場面よりふやしているから。
- ライオンのすがたはなくても、みんなじんぎのことはわすれないと思ったから。

おじさんやお客さんの行動に、じんぎへの想いが表れている。

【7 / 8 時間目 指導略案】 ワークシート⑦

活動のねらい  
サーカスや周囲の人の様子から、叙述に基づいてじんぎの気持ちを想像することができるようにする。

1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。

- じんぎが少年のために命を失った四の場面の様子を振り返り、本時のめあてを確認する。

2 学習場面を音読する。

- じんぎの顔を心情曲線に貼ることで、そこに貼る根拠となったじんぎの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に五の場面を音読させる。

3 じんぎの気持ちについて、自分の考えをもつ。

【発問】五の場面のじんぎの気持ちはどう変わったでしょう。

- ① 心情曲線にじんぎの顔を置く。
- ② じんぎの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。
- ③ 付せんにワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。

4 じんぎの気持ちについて、話し合う。① ペアで ② 全体で

- じんぎの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。
- 理由の中にじんぎの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。
- 児童の発言を基に、みんながじんぎの死を惜しみ、勇敢なライオンとしてたたえていることに気付かせ、じんぎの気持ちを想像させるようにする。

5 五の場面のじんぎの気持ちを想像しながら、じんぎの顔の位置を決めて貼り付ける。

- 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。

【評価】 叙述を基に、じんぎの気持ちを想像することができている。(イ1)

6 本時の学習をまとめ、次時の学習内容を知る。

- ワークシートで自己評価をする。
- 次時は、これまでの学習を生かして「サーカスのライオン」の帯を作ること知らせる。

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

「サーカスのライオン」の帯を作り、友達としようかいし合おう。

場面	小見出し	（ ）の心じよう曲線
一	年取った しんざ	新しい元気があ やる気がある・うれし い
二	男の子と 出合った しんざ	↑さびしい・元気がな い やる気のない新しい
三		
四		
五		

私が選んだ大事な一文

- じんざは、ぐぐつとむねのあたりがあつくなくなった。
- ライオンの体がぐうんと大きくなった。
- ぴかぴかにかがやくじんざだった。

友達とくらべて

- えらんだ文はちがっていたけど、じんざが男の子を助けたという気持ちは、同じだった。

「大事な一文」とは、「じんざの気持ちが大きく変わったことがわかる文」としてこれまで学習してきました。

↑  
 広用紙の下には、既習場面の大事な一文の短冊が貼られています。ここでは、スペースの都合で省略しています。

【8 / 8時間目 指導略案】 使用するワークシート②⑧⑨  
 活動のねらい

「サーカスのライオン」の帯を作り、友達と交流させることを通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- じんざの心情曲線を基に、じんざのこれまでの気持ちの変化を確認する。

2 ワークシートの帯に、「サーカスのライオン」の大事な一文とそれを選んだ理由を書く。

- これまで書いた心情曲線と二〜五場面のワークシートを参考にしながら、大事な一文を選ばせる。

○ 帯に書く内容について確認する。

- ・ 大事な一文
- ・ そこを選んだ理由
- ・ そこにじんざのどんな気持ちが表れているか
- ・ そのじんざに対する想い（じんざへのメッセージ）

3 帯に書いた大事な一文とそれを選んだ理由について話し合う。① ペアで ② 全体で

- 完成した帯を教科書にかけて紹介し合うようにする。
- 交流の視点を提示する。
  - ・ 選んだ一文が同じかちがうか
  - ・ 選んだ理由にじんざの気持ちを想像する言葉が入っているか
  - ・ 帯に書いている内容の中で似ているところやちがうところがあるか

4 ワークシートに友達の帯を読んだ感想を書く。

- 友達の帯を読んだ感想を相手のワークシートに書き込ませる。

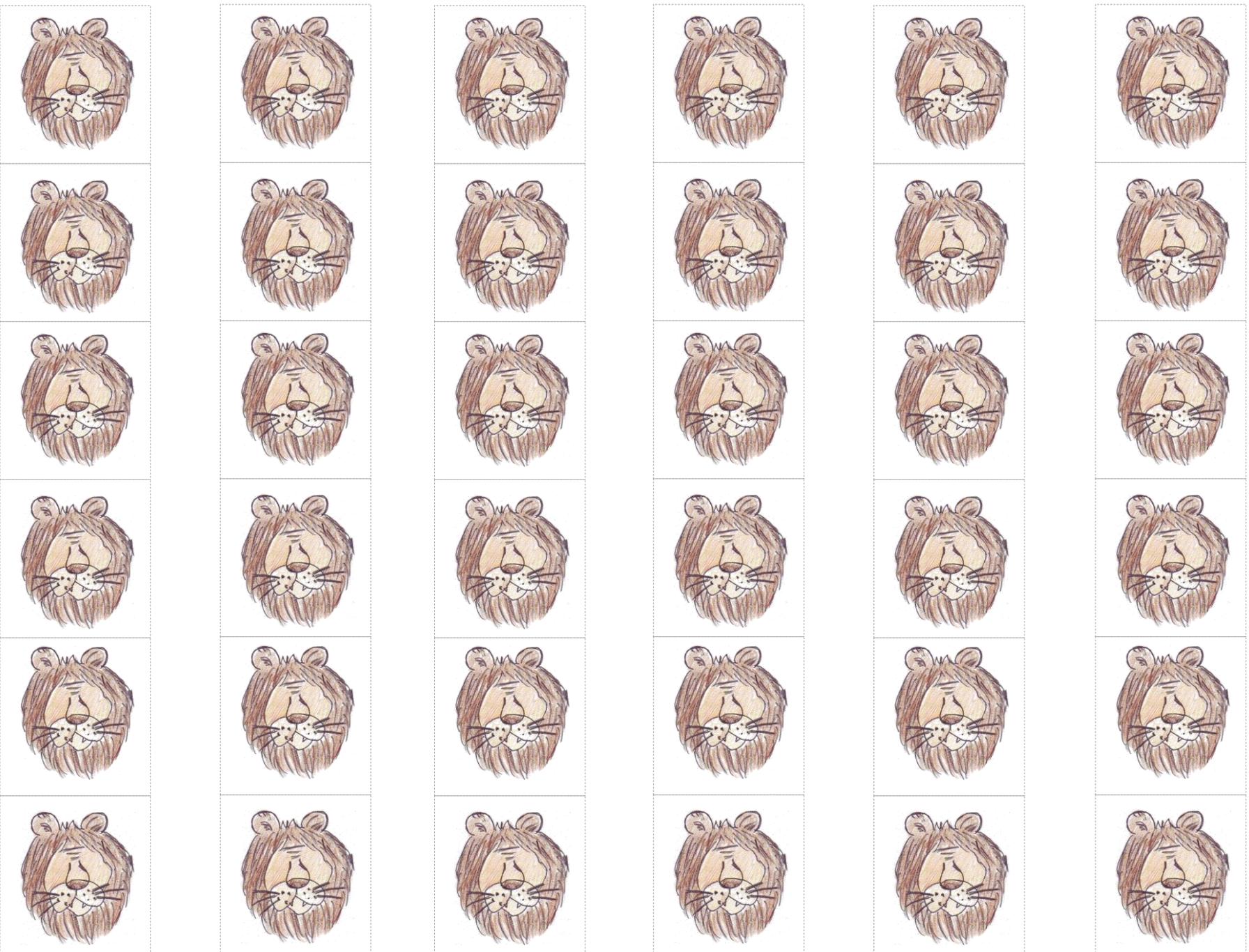
【評価】友達との交流を通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。できている。(イ2)

5 これまでの学習を振り返る。

- ワークシートで自己評価をする。
- 記述の部分は発表する。

# じんぎの顔（児童用）

縦一列分児童に配布して、場面ごとの気持ちの変化を心情曲線に表すときに使います。  
目はじんぎの気持ちちを想像して児童に描かせることができますようにしています。



ワークシート①「サーカスのライオン」 名前 ( )  
めあて

大事だと思う一文を選び、これから学習することを知ろう。

☆大事だと思う一文をえらんで書きましよう。

①物語の中で大事だと思う一文

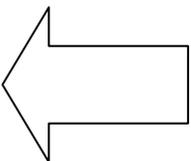
Blank box for writing the chosen sentence.

②その一文をえらんだ理由

Blank box for writing the reason for choosing the sentence.

☆単元のめあて

Blank box for writing the unit goal.



めあてをたっせいするために  
こんな勉強をしています。



Two rounded rectangular boxes for writing the learning goal. The top box is labeled "サーカスのライオン". The bottom box contains the question "何に書き表しますか?".

サーカスのライオン

何に書き表しますか？

☆今日の学習をふりかえりましよう。

◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・これからどんな学習をするのか分かりましたか。

◎ ○ △

ワークシート② 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前 ( )

めあて

場面を分け、場面ごとに小見出しを書こう。

場面	小見出し	( )	( )の心じよう曲線
一		やる気がある・元気があ る楽しい・うれしい	↑ ↓
二			
三			
四			
五			

↑物語のはじめ

↑物語の終わり

☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・場面ごとに小見出しを書くことができましたか。

◎

○

△

ワークシート③ 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前 ( )

めあて

登場人物の人物ぞうをとらえよう。

男の子	じんざ	
		根きよとなる言葉や文
		想ぞうのできること

☆どんな人物か一文で表そう。

じんざ…

男の子…

☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

・登場人物の人物ぞうの根きよとなる言葉や文を見つけることができましたか。

◎ ○ △

・登場人物の人物ぞうを想ぞうすることができましたか。

◎ ○ △

ワークシート④ 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前 ( )

めあて

二の場面のじんごの気持ちの変化を考えよう。

① 大事な一文（心じょう曲線のふせんをはる）

( ) ページ ( ) 行目

--

② そこをえらんだ理由


☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

二の場面のじんごの気持ちを考えることができましたか。

◎

○

△

ワークシート⑤ 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前 ( )

めあて

三の場面のじんごの気持ちのへん化を考えよう。

① 大事な一文（心じょう曲線のふせんをはる）

( ) ページ ( ) 行目

--

② そこをえらんだ理由


☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・三の場面のじんごの気持ちを考えることができましたか。

◎

○

△

ワークシート⑥ 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前 ( )

めあて

四の場面のじんごの気持ちのへん化を考えよう。

① 大事な一文（心じょう曲線のふせんをはる）

( ) ページ ( ) 行目

② そこをえらんだ理由

--	--	--	--	--	--	--

☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・四の場面のじんごの気持ちを考えることができましたか。

◎

○

△

ワークシート⑦ 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前 ( )

めあて

五の場面のじんごの気持ちを考えよう。

①大事な一文（心じょう曲線のふせんをはる）

( ) ページ ( ) 行目

--

②そこをえらんだ理由


☆今日の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し

・五の場面のじんごの気持ちを考えることができましたか。

◎

○

△

ワークシート⑧ 人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」

名前（

）

めあて

「サーカスのライオン」の帯おびを作り、友達としようかいし合おう。

( ) ページ ( ) 行目

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

①物語の中で最も大事な一文

③じんざへの一言メッセージ

②そこをえらんだ理由

☆友達 ( ) より

---

---

---

---

---

☆友達 ( ) より

---

---

---

---

---

ワークシート⑨ 人物の気持ちを考えながら読もう

名前 ( )

☆「人物の気持ちを考えながら読もう」の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

場面ごとに主人公の気持ちのへん化を考えながら読むことができた。	◎	○	△
主人公の気持ちを心じよう曲線に表すことができた。	◎	○	△
主人公の気持ちが大きくかわる一文とその理由を本の帯に表すことができた。	◎	○	△

( )

ワークシート⑨ 人物の気持ちを考えながら読もう

名前 ( )

☆「人物の気持ちを考えながら読もう」の学習をふりかえりましょう。

◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

場面ごとに主人公の気持ちのへん化を考えながら読むことができた。	◎	○	△
主人公の気持ちを心じよう曲線に表すことができた。	◎	○	△
主人公の気持ちが大きくかわる一文とその理由を本の帯に表すことができた。	◎	○	△

( )